



la *Garde-robe*
par
SAKURA ANTIQUITÉS

時を超えた美しさの物語
Bijoux Fantaisie de Gabrielle Chanel



SAKURA ANTIQUITÉS

"La mode n'existe pas seulement dans les robes... La mode est dans l'air, c'est le vent qui l'apporte, on la pressent, on la respire, elle est au ciel et sur le macadam, elle est partout, elle tient aux idées, aux mœurs, aux événements..."
- Gabrielle Chanel

Bijoux Fantaisie de Gabrielle Chanel

ベル・エポックの時代に
連れてって。
シャネルが生きていた頃の、
情熱をもういちど。



鷲を模ったペンダントヘッド。大小2つのハート型を濃厚なオレンジレッドのペーストガラスでボディ部分に埋め込んで。
A GILT METAL AND MOLTEN GLASS PENDANT
(シャネル社、フランス製 / 1954~71年 8.9cm)



赤と緑のペーストガラスでできた楔形と円形のモチーフを、溝の入った円筒形の金具に固定してフォックステールチェーンに通したネックレス。ロベール・ゴッサンスがビザンチン様式、エトラスカン様式、中世、古代エジプトに感銘を受けてシャネルのために作られた。金属部分は金メッキ。シャネルの刻印あり。
A GILT METAL AND MOLTEN GLASS NECKLACE&EAR CLIP
(シャネル社、フランス製 / 1965年 49.5cm / 1954~71年 3.3cm)

アポリネールやコクトーが
未来を語り明かした
カフェ・ド・フロールで待ち合わせ。
あの頃のアーティストの想いを
胸にまどって。



表面感のあるシルバーの地金の模様に、赤と緑のベアストガラスで作ったカボションを十字形にデザイン。表面にはヴェルメイユ仕上げをし、ピザンチン様式の絵画より感銘を受け製作された。シャネルのサインとフランスのホールマークを刻印。

TWO IMPORTANT VERMEIL AND MOLTEN GLASS BANGLE BRACELETS (1965年 左:7.0cm 右:6.5cm)



十字架をデザインしたブローチは、金メッキ枠をねじって四葉型に縁取りし、イミテーションパールをアクセントに。中央の円錐型の緑のベアストガラスが象徴的。シャネルのサインの刻まれた長方形プレート付き。

A GILT METAL AND MOLTEN GLASS BROOCH (約1954~71年 5.7cm)



メダルに金メッキが施され、星座や宗教、神話シーンが浮き彫りで描かれている。

A GILT METAL PENDANT (1959年 約5.7cm)



イミテーションケシパールの周りをラインストーンが取り囲み、大きなベアシェーブのイミテーションパールが垂れ下がったトレンブランイヤークリップ。シャネルのサインが丸いプレートに刻まれている。

A SIMULATED PEARL AND RHINESTONE EAR CLIP (1954~71年 5.1cm)

1950年代からの気鋭デザイナーが
かたちにしたシャネルの原点が
ここに、まだ息づいています。



東インド文明の影響を受けた、象徴的な模様が透かし彫りにされた船型のチェーンネックレス。葉飾りの赤いガラスビーズが垂れ下がり、その先端には人物像が。シャネルのサインが刻まれている。

AN IMPORTANT GILT METAL, GREEN MOLTEN GLASS AND RED GLASS BEAD PENDANT NECKLACE (約1954年~71年 42.0cm)



獅子座を表すライオンが描かれた丸型メダルのバックルに、ラインストーンが施されたチェーンベルト。バックル裏側にはシャネルのダブルCのモノグラムが。長方形のプレートにシャネルのサインが刻まれている。

A GILT METAL BELT (約1954~71年 80.0cm)



ギルトメタルに、濃赤、緑、青のベアストガラスが埋め込まれたベルト。ギルトメタルは彫刻が施され中央部に埋め込まれた溶かしガラスは十字架を模っている。シャネルのサインが刻まれている。

A GILT METAL AND MOLTEN GLASS JEWELRY BELT (約1958年 73.5cm)



楕円のバックルに3列のチェーンを繋ぎ緑のベアストガラスで句切り留めたベルト。イミテーションパールをあしらひ、シャネルのサインも刻まれている。

A GILT METAL, SIMULATED PEARL AND MOLTEN GLASS BELT (約1954~71年 71.0cm)



アーチ状のワイヤーの両端に数枚の羽をあしらった耳飾りと、無数の極細キヘイチェーンに等間隔で細長い金具が繋がれているネックレス。二頭のドルフィンの頭を模った口部にイミテーションパールをあしらって。

A GILT METAL EAR ACCESSORIE AND SIMULATED PEARL NECKLACE (約1954~71年 8.9cm / 47cm)



粒状の装飾とカールした葉が透かし彫りになった楕円形のバックル。シャネルのサインが刻まれている。

A GILT METAL BELT BUCKLE (約1954~71年)

Story of the Owner

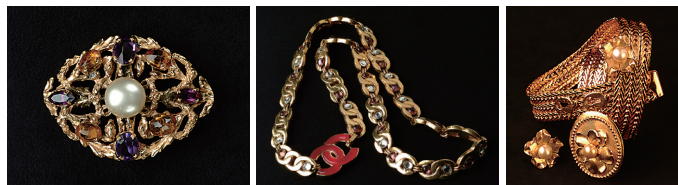
『桜アンティークテ』で出逢える全ての作品は、ココ・シャネルこと本名ガブリエル・シャネルがパリに戻り、第一回目のコレクション発表をした1954年から1971年までのもの。特に1954年の彼女のお気に入りのマスカン(モデル)は、いずれシャネルスーツへと発展していくブルー・マリンのジャージ・スーツにカノチエ帽子という出立ちでした。また、この時期のシャネルコレクションは、ジュエリーのデザイン製作を金属工芸家のロベール・ゴサンス氏と共同で行うという、シャネルならではの一貫したポリシーが表現されています。

私がこのコレクションに出会ったのは、2000年、ニューヨークでのこと。ハリス・シモンズ・ミラー氏の紹介で、作品をゴサンス氏ご本人から譲り受けたものです。初めて目にした時、私はその重要性に気づきませんでした。というのはヴィンテージのアクセサリーにも関わらず新品同様で、今までパリ・オテル・ドゥ・ローなどのオークションに出てきたものとは全く違うものに見えたのです。ヴィンテージとは通常、使用感がありそれが味わいにもなっていました。ところがこの全ては、ゴサンス氏のアーカイブで製品化される前のプロトタイプだったのです。

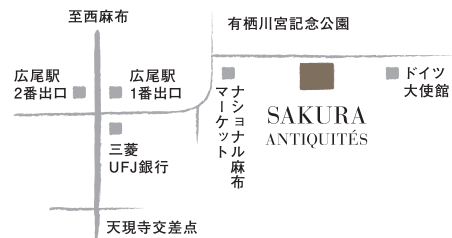
シャネル自身が作品を作る時、このものたちを手に取り、じっくりと考察をしたのだそう。「ファッションは時代の鏡であり時代が感性を生む」。でも、スタイルがないと意味がない。「最後に残るのはスタイルだ」という、彼女の名言が今でもこのサロンの原点となっています。

(店主・石井一男)

なぜヴィンテージにこだわるのか
それはトレンドに流されない
揺らぎない美しさがあるから



パリのエレガンスを彷彿とさせるシックなサロンでは、シャネル社のコレクションを中心とした、様々なヴィンテージジュエリーに出逢えます。



桜アンティークテ

03-3447-6030 (完全予約制)
106-0047 東京都港区南麻布4-5-5
11:00 ~ 19:00 ㊿火曜
東京メトロ日比谷線
「広尾駅」1番出口より徒歩3分

<http://sakura-antiquites.com>

E-mail
info@sakura-antiquites.com

